

2025 年 5 月 27 日

各 位

令和7年度 全国発明表彰 日本弁理士会会長賞を受賞

四国化成ホールディングス(株)のグループ会社である四国化成工業(株)〔本社：香川県丸亀市、代表取締役社長：濱崎誠〕は今年度の全国発明表彰におきまして日本弁理士会会長賞を受賞しました。受賞したのは、『耐熱性・耐湿性を発現する低温硬化接着剤の発明（特許第5923472号）』の発明者である

四国化成工業(株) 機能材料開発部 部長 熊野 岳（くまの たけし）、
四国化成工業(株) 機能材料開発部 課長 武田 琢磨（たけだ たくま）、
四国化成工業(株) 執行役員 徳島工場長 溝部 昇（みぞべ のぼる）の3名です。同時に、
本発明の実施化に尽力した功により、四国化成工業(株) 代表取締役社長 濱崎 誠（はまざき まこと）
が発明実施功績賞を受賞いたしました。

本発明は、エポキシ樹脂の硬化剤として有用である、新規なメルカプトアルキルグリコールウリル類および該メルカプトアルキルグリコールウリル類を硬化剤として含むエポキシ樹脂組成物に関するものです。

本発明のメルカプトアルキルグリコールウリル類をエポキシ樹脂の硬化剤として使用することで、従来よりも低い温度での硬化を可能にします。電子部品の中には150℃以上といった高温の条件下では変形や不具合が発生してしまうものがありますが、上記硬化剤を用いて低温条件で硬化し接着することにより、高温に弱い電子部品を搭載できるようになりました。スマートフォンや半導体機器等をはじめとする様々な最先端機器の高性能化に大きく貢献しています。

「全国発明表彰」は日本の科学技術の向上と産業の発展に寄与することを目的として1919年（大正8年）に始まりました。科学技術的に優れた進歩性を持ち、顕著な実施効果を上げ、日本の科学技術の振興と産業経済の発展に大きく貢献した発明等が対象となります。全国発明表彰での受賞は当社グループにとって初めてのことです。

表彰式は、7月1日(火)にThe Okura Tokyo（東京都港区）で行われます。

以 上

このリリースに関するお問い合わせは
四国化成ホールディングス(株) 経営企画室 広報課まで
TEL. 0877-21-4119